

令和4年度第2回山縣市公共交通会議 議事録

日 時 令和5年1月19日（木）午後2時00分～

場 所 山縣市役所3階 大会議室

事務局長あいさつ

○事務局長：本日は忙しいなか山縣市公共交通会議にご出席いただき、ありがとうございます。本日の議題は、「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」、「自家用有償旅客運送の更新について」、「昼得きっぷの通用期間延長について」であり、協議会の承認が必要なためお集まりいただいたものです。

また、この山縣市公共交通会議は、関係者の皆様に議論いただく場です。積極的かつ活発な協議をお願いいたします。

会長あいさつ

○会長：本日はご多忙のなか、会議にご出席いただき、ありがとうございます。本日は、協議事項、報告事項が多数ありますが、ご忌憚のない意見をお願いいたします。

年末からまたコロナの感染者数が増加し、医療がひっ迫しています。また、インフルエンザの感染者数も増えています。しかし、重症化しないため、以前ほど外出自粛という雰囲気はありません。さらに第5類への見直しも進められていることから、with コロナ・ポストコロナの中では公共交通は、また利用が増えていくのではないかと思います。

余談ですが、山口市では市政20周年記念事業を進めており、その一環として、山之内すず氏が出演するショート動画を作成しています。お時間がある際に、ぜひご覧ください。

協議事項1 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価について

○事務局：(資料1の説明)

○委員A：資料1はフィーダー補助金の対象路線に対する事業評価として作成される資料ですが、地域公共交通網形成計画を適切に推進するには、こうした評価を行い、PDCAサイクルのスパイラルアップが大切となります。今後も引き続き取り組んでください。

○会長：利用者の減少はコロナによる影響が多いと思われませんが、これが第三者評価の場でどう評価されるかが気になります。評価の場では厳しいご意見もありますが、非常に勉強になるため、担当課にはこちらの資料をもって説明をしてもら

います。

○会長：この件について、ご承認いただけますか。

○委員：(異議なし)

協議事項2 自家用有償旅客運送の更新について

○事務局：(資料2の説明)

○副会長A：29ページの11 委託料(4)「…支払いを請求できることができるものとする」という部分を修正してはいかがでしょうか。

○事務局：「請求できるものとする」に修正いたします。

○委員A：自家用有償旅客運送でも輸送の際の安全が第一となります。運行開始から更新までに大きな事故等はありませんでしたか。

○事務局：人身事故は発生しておりません。

○委員A：引き続き安全な運行に努めていただきたいと思います。

○会長：この件について、ご承認いただけますか。

○委員：(異議なし)

協議事項3 平日昼間帯限定1日乗車券(昼得きっぷ)の通用期間延長について

○事務局：(資料3の説明)

○会長：この件について、ご承認いただけますか。

○委員：(異議なし)

報告事項1 前回からの経過報告

○事務局：(資料4の説明)

報告事項2 令和4年度山県市地域公共交通計画 調査・分析業務の進捗について

○事務局：(資料5-1、5-2、5-3の説明)

○会長：資料5-2 日当たり利用者数の合計欄は、全て平均と表現するのが適切だと思います。

○委員B：日頃からバス事業にご理解・ご協力いただきありがとうございます。資料5-3 16~17ページの山県バスターミナルカウント調査では、車両の停車時間を調査していますが、実際の利用者の意見は把握されていますか。またどのような地域の方が利用されているのでしょうか。

○事務局：直接、利用者からの良かったという意見は届きにくくなっています。
駐車場を宿泊で利用する場合に提出される申請書をみると、関市武芸川地域、大桑地区など、岐阜高富線沿線ではない方が多くなっています。これまでバスを利用しづらかった地区の方が使いやすくなったのではないかと考えています。

○委員B：脱炭素等では、公共交通は大切な役割を担います。高齢者だけでなく、ビジネスマンにも公共交通の利用を促進させていくには、よい取り組みだと思います。

○委員C：詳細な調査が丁寧に実施されており、数値を見ていくだけでも分かることは多数あると思います。そこからさらに利用者1人1人に焦点を当て、「行きと帰りを比べると利用に差がある。どちらかが送迎か」などの想定をしていくと、おもしろい活用ができるのではないかと思います。

○会長：P&BRを推進している山県バスターミナルは、駅に代わるにぎわい創出のエリアとするため、中期的なビジョンを持って活性化を目指しています。より活性化させるために、県の方などにも今後ご助言いただきたいと思います。

市政10周年の際は、バスの無料乗り放題期間を提案した記憶があります。現在バスを利用していない人には、いつお金を払うかも分からない、という方もいます。20周年記念事業の中でも、バスの利用促進につながるものを事務局には提案していただきたい。

○副会長A：高校生から高齢者まで様々な利用者があり、ニーズが違い、地域によって公共交通の運行方法も違います。今年度の調査で、様々なデータが取れているので、これを参考に地域にあった路線を検討していければと思います。

○副会長B：1時間を超える会議で資料も大量でしたが、ご協議いただきありがとう

ございました。

以上